

木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(22年12月分)

1. 調査実施期間 平成22年 11月20日 ~12月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

12月分の回答企業数は40社、回収率は88.9%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		22/12月	23/1月	2月
仕入動向	国産材	△ 4.8	△ 11.3	△ 8.1
	外材	△ 14.1	△ 16.7	△ 7.7
販売動向	国産材	△ 8.1	△ 6.5	△ 6.5
	外材	△ 15.4	△ 12.8	△ 6.4
在庫動向	国産材	△ 14.5	△ 14.5	△ 9.7
	外材	△ 13.5	△ 18.9	△ 9.5

仕入は、国産材年明け後もマイナス基調で横ばい。外材はマイナス幅やや縮小回復の様子。

販売は、国産材マイナス横ばいで動き弱い。外材先行きマイナス縮めて多少低迷感薄まる。

在庫は、国産材、外材とも先行きマイナスではほぼ変わらず、在庫量抑え引き続く。

先月同様に全因子マイナスと全般の消極的な荷動きの様相。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	22/12月	23/1月	2月
スギ正角(グリーン)	14.3	10.0	7.5
スギ正角(KD)	26.1	20.5	9.1
ヒノキ正角	11.4	4.5	△ 2.3
ヒノキ土台角	13.0	2.2	△ 2.2
米ツガ正角(現地挽)	0.0	0.0	△ 2.3
米ツガ防腐土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	2.2	0.0	0.0
米マツ平角	△ 2.2	0.0	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	7.1	7.1	0.0
ホワイトウッド集成管柱	△ 19.6	△ 8.7	△ 4.5
レッドウッド集成平角	△ 5.6	0.0	0.0
型枠合板(国産)	4.5	0.0	0.0
型枠合板(輸入)	4.8	2.4	△ 2.5
針葉樹合板	5.0	0.0	0.0

スギ正角(グリーン、KD)は品不足感あり、プラス基調で推移。特にKD材のプラス幅が大きい。ヒノキ正角、土台角とも当面プラス推移だが、先行きは小幅マイナス。

米ツガ正角、防腐土台角、割物、米マツ平角は、先行きおおむね±0で変化なし。北洋アカマツタルキは材不足解消できず、当面プラスで推移。

WW集成管柱マイナス幅を縮め回復の様相も。RW集成平角先行き±0となっている。

合板(針葉樹を含む)は若干のプラスから先行き±0ないしマイナスに転じている。

1. 荷動き				
仕入 動向	米マツ一般材丸太は、米材11月積み輸出価が据え置きの様子だが、中国向け下級材は強含みで推移。カナダ材は現地在庫が少ない上、中国と日本の合板用材の買いが旺盛な事から、引続き強含んでいる。(東京:米材問屋) 米ツガ、米マツともに仕入れは抑えている。(東京:米材問屋) 入荷量の激減で欠品が増えている。(東京:米材問屋) 米材は先安傾向で仕入意欲減退。(東京:米材問屋) スギKD柱・間柱の仕入れが難しい。納期1~2ヶ月かかる。外材もロシア材の仕入が難しくなった。(東京:外材集成材問屋) 産地は原木不足と通貨高で日本に見向きもしない。(東京:南洋・中国材問屋) 現地の原木の出材が悪く、入荷が少ない。(東京:南洋材問屋) 現地の丸太不足で入荷大幅減。(東京:南洋材問屋) ロシア産タモ、ナラの原木不足が産地での減産の要因になっている。供給不足が目立ってきた。(東京:広葉樹材問屋) スギKD柱・間柱品薄。価格上昇、納期遅い。(東京:国産材問屋) ロシア材一部やや強含み感あり。(東京:北洋材問屋) スギ柱相変わらず集荷難。値上げ必至と思う。(東京:国産材問屋) 新材の季節となり仕入は増す。足りない品種あり。(東京:国産材問屋) 売行き悪いが供給は減っている。良材少ない。(東京:国産材問屋) プレカットは12月もフル稼働だが一般流通はあまりよくない。現在セールの準備中だが売行きに注目。(東海:外材問屋) 市況は我々小売商では余り変化無く推移している。(東京:仲買小売)			
	販 売 動 向	国内京浜マーケットでは、コースト材、カスケード材ともに荷動きが停滞。比較的荷動きが良好であったカスケード材も、入荷超過気味で問屋は売り値維持に必死。(東京:米材問屋) 販売量は変わらず。(東京:米材問屋) 入荷減を強調しても当用買いの動きは変わらず。売れるものと売れないものがハッキリしている。(東京:米材問屋) 相変わらず細かい受注ばかり。産地の都合から入荷量が減り、調達できない商品もあるが顧客は実情を理解していない。(東京:南洋・中国材問屋) 引合いはあるが売る品物が無い。(東京:南洋材問屋) 入荷時には完売。(東京:南洋材問屋) 国産材は仕入れるとすぐ売れる状態。外材も11月は荷動きが非常に良かった。(東京:外材集成材問屋) 構造材は売れ行き不振。(東京:米材問屋) 秋田スギ、羽柄材2,000円/m ³ 上げ。(東京:国産材問屋) 内装材関係は動き悪いが、厚みの薄い枠材関係の需要は多い。(東京:国産材問屋) スギKD材値上げも仕入値上げを吸収できず。(東京:国産材問屋) 新築が決まるなど現場の数が増加。(東京:仲買小売) 11月は下地材を中心にそこそこの販売額はあったが、それ以外が全く売れない。今月以降も同様の兆し。(東京:仲買小売) 10、11月と売上上々であったが12月はその反動がありそう。断熱材不足の中、担当者は頑張っって何とか乗り越えている様子。(東京:仲買小売) あちこちからの情報では11月中旬過ぎより上向き傾向だが、都心部の当社は相変わらず荷動不振の状態。(東京:仲買小売) 今までとは違い、荷動きの波が極端になっているので、来年1月2月の荷動きが心配である。(東海:仲買小売) 忙しい所も有るようだが、当社は未だに低迷、変化無し。(大阪:仲買小売) 断熱材が入らなくて仕事が遅れ、困っています。(大阪:仲買小売)		
		在 庫 動 向	京浜港への入荷は11月本船二杯で完全に入超。出庫が落ち込んでいる事から、大幅な在庫積み増しとなっている。(東京:米材問屋) ツガKD角・割ともかなり減少。マツは変わらず。(東京:米材問屋) 減少傾向変わらず。(東京:米材問屋) 春まで在庫水準回復しそうもない。(東京:南洋材問屋) 入荷が少なく在庫は減少。特にラワン平割類の在庫はかなり少ない。(東京:南洋材問屋) これから不需求期になるので在庫を抑えていく予定。国産材は別。(東京:外材集成材問屋) 入荷量は減少し在庫量も減少。クリスマス・新年・旧正月と続くので入荷増は期待できない。(東京:南洋・中国材問屋) 在庫は増す予定。(東京:国産材問屋) 品薄。入荷待ち。(東京:国産材問屋)	
			2. 価格動向	
			スギ正角	KD材、需要多く材少ない。強含み。(東京:問屋) グリーン材問い合わせあるが物無し。KD材価格追いつけず。(東京:問屋) 市場の品を問屋が買ってしまい、市場に材が無い。スギ材全般に強い。(東京:仲買) KD材を中心に桁、母屋等が品薄、価格も上昇。大手ハウスメーカー、建売業者、プレカット会社、一部の合板会社等が丸太を大量に買い付けているのが原因か。(東京:仲買) 供給量少ないため、どうしても価格面で強含みになっている。(大阪:仲買) 市場の品を問屋が買ってしまい、市場に材が無い。スギ材全般に強い。(東京:仲買)
			ヒノキ正角 土台角	価格やや強含み。(東京:問屋) その場価格。(東京:問屋) KD材製品不足気味。(東京:問屋) スギに引っ張られてか品薄で強い。(東京:仲買) 産地の原木不足により少し値上がり。(大阪:仲買)
			米ツガ	価格は変わらず。(東京:問屋) ツガの丸太不足のためやや値上がりしている。(大阪:仲買) ヒノキ、米ツガ、米マツは変化なし、横ばい。(東京:仲買)
		米マツ平角	出荷は好調、価格横ばい。(東海:問屋) 円高で少々安値が見られる。(東京:問屋)	
		北洋アカマツ タルキ	現在一部アイテムが非常に少なく、価格やや上昇。(東海:問屋) ロシア産材やや上昇気味。(東京:問屋) 材不足解消の見通し立たず、価格も上昇。(東京:仲買) 下級品は品薄で値段が上昇。(東京:仲買)	
		WW・RW 集成材	WW管柱下げ止まりか。RWは横ばい。(東京:問屋) 少々安値が見られる。(東京:問屋) 先物価格はやや下落だが、国内メーカーはやや弱含み。(東海:問屋) 円高により弱含み。(東京:仲買) 仕入れ毎に50円/本値下がり中。(大阪:仲買) 集成柱は一服状態で値下がり。(東京:仲買)	
合板		価格少々下落。(東海:問屋) 針葉樹合板は幾分弱含み。(東京:仲買)		